

シルバーかわさき

<http://www.kawasaki-sc.or.jp>

3.11 東日本大震災 「がんばれ！ニッポン」

平成二十二年第三回 理事会と評議員会を開催

三月二十四日に開催された平成二十二年第三回理事会・評議員会で、①「平成二十二年第二度第2次補正予算案」、②「短期借入金契約について」、③「平成二十三年度事業計画及び収支予算案」、④「新公益法人移行後の最初の評議員の選任に係る最初の評議員選定委員会委員の選任について」、⑤「新公益法人移行後の最初の評議員候補者の推薦について」、⑥「新公益法人移行後の役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程について」各議案が審議され、いずれも全会一致で承認・可決されました。

平成二十二年事業計画

重点事業

一 会員の増強と育成

- ・ 会員の増強（女性会員の入会に向けた効果的なPR活動の推進及び定期的な懇談会の開催など）
- ・ 各種研修・講習会の開催（認知症基礎知識講習会など）
- ・ 地域班の活性化（地域班の組織化と会員相互の連携強化など）

- ・ 職群班活動（家事援助・子育て支援等未設置の職群班の組織化など）
- 二 就業機会の拡大・受注の開拓
- ・ 家事援助・介護支援・子育て支援事業の推進（南・中・北部事務所へコーナーネイターを配置）
- ・ 就業機会創出活動（就業機会創出員による企業訪問など）
- ・ 就業機会の公平性の確保（就業交代制度の推進）
- ・ 地域密着型の事業の推進（地域に密着した簡易的なサービス事業の推進）
- ・ ホームページを活用したPR活動

三 安全・適正就業の徹底

- ・ 安全・適正就業委員会等による活動（事故原因と防止策策への取り組みなど）
- ・ 安全講習会の実施（交通安全講習会の実施など）
- ・ 安全就業に向けた取り組み（会報に「私の健康法」の掲載など）

四 事業推進体制の強化

- ・ 財政基盤の強化（適正な事務費率のあり方について調査・検討など）
- ・ 「第2次中期計画」の進行管理
- ・ 会員組織の強化（地域班活動と親睦活動の連携推進など）

五 高齢者の就労支援

- ・ 高齢者無料職業紹介事業の実施
- ・ 一般労働者派遣事業の推進
- ・ 県シ連主催の事業への協力
- ・ 市との連携強化

六 新公益法人認定申請に向けた取組み

当センターは、事業目的の主旨に鑑み、公益性が高く、社会的に高い信頼性を得ることができると認められる「公益財団法人」への移行認定申請に向け、県シ連等と連携しながら引き続き、取り組んでまいります。

平成二十二年収支予算

平成23年度収支予算は、新公益法人移行を踏まえての新会計基準に準拠し、基本方針に則り編成いたしました。歳入の主要な部分を構成する受託事業収入につきましては、前年度実績の推移を見極めると共に、昨今の厳しい社会経済状況等を直視し編成しました。

歳出につきましては、前々年度、前年度の執行状況を精査し、現在の事業規模に合わせ、必要な経費は適正な範囲内で増額し、削減できる経費は極力減額を図ることに心掛けるなど、内部努力を徹底させ、自主財源の比率を確保するとともに、事業運営に必要な財源につきましては

平成23年度 収支予算書

は可能な限り手当てをする事を目指したメリハリの編成をしました。
収支予算書は左表のとおりです。

収入の部 (単位：千円)				支出の部 (単位：千円)			
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	科 目	予 算 額	前年度予算	増 減
受託事業収益	1,051,315	1,044,360	6,955	事業費支出	1,095,670	998,257	97,413
受取会員登録手数料	1,000	500		管理費支出	41,385	119,073	△ 77,688
基本財産運用益	47	47	0	事業活動支出計	1,137,055	1,117,330	19,725
特定資産運用益	50	0		特定資産取得支出(経常外)	0	12,720	△ 12,720
補助金収入	78,037	85,588	△ 7,551	投資活動支出計	0	12,720	△ 12,720
寄付金収入	1	1	0	借入金返済支出	65,001	76,001	△ 11,000
雑収入	5	50	△ 45	財務活動支出計	65,001	76,001	△ 11,000
事業活動収入計	1,130,455	1,130,546	△ 91	予 備 費	0	500	△ 500
特定資産取崩収入	4,600	4	4,596	支出の部計	1,202,056	1,206,551	△ 4,495
投資活動収入計	4,600	4	4,596	当期収支差額	-2,000	0	△ 2,000
借入金収入	65,001	76,001	△ 11,000	前期繰越収支差額	2,000	2,000	0
財務活動収入	65,001	76,001	△ 11,000	次期収支差額	0	2,000	△ 2,000
収入の部合計	1,200,056	1,206,551	△ 6,495				



左上から 東條会員、武田会員、大貫会員、西会員、吉田会員、中村会員、渡邊会員、佐藤会員
左下から 皆川会員、阿久津会員、中村会員、青木理事長、仲川事務局長、丹野会員、鈴木会員、中里会員

平成二十二年 度 会 員 表 彰 式

平成二十三年一月二十日(木)、平成二十二年度の会員表彰式を開催しました。
長年にわたり会員の模範となる活動をした方々へ、理事長から表彰状を授与し、記念品を贈呈しました。その後の懇親会で、受賞された会員の皆さんから、受賞の感想や入会当時の思い出話などで盛り上がり、終始和やかな雰囲気の中で行なわれました。
受賞者の皆さん、おめでとうございます。

地域班だより

「地域班」について、会報で各地域を紹介の第二回目は幸区になります。幸区は川崎区・中原区に隣接し、区域内には、多摩川、鶴見川、矢上川の3つの河川に囲まれています。また、川崎駅西口には、「ラゾーナ川崎」など大規模商業施設と、高層住宅が建てられ、新しい街づくりが進行し、今後の繁栄が期待されています。

○幸区西班長 梶 幸雄

シルバーの仲間と仕事をして、お客様と交わす会話を楽しみに働いております。是非新しい仲間が増え相互の交流が深まることを念願しております。

○幸区東班長 今村 政雄

中原区で56年、幸区ではまだ3年ですが、とてもよい町と感じております。東地区の班長とすることですが、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。



平成23年2月22日
地域班の活動状況について、(社)相模原シルバー人材センターを視察いたしました。
地域班の具体的内容など説明を受け、会員との意見交換などを行いました。

平成二十二年 第二回 安全・適正就業委員会報告

平成22年度第2回安全・適正就業委員会を2月21日(月)に開催いたしました。

提案議題①「平成23年度安全・適正就業対策実施計画」②「安全グッズ」③「事故発生状況(平成22年4月から平成23年1月まで)」が審議され全会一致で承認されました。

平成23年度 安全・適正就業対策実施計画

一 安全・適正就業の推進

- (一) 安全・適正就業委員会の活用
 - ・ 事故原因を分析し、防止策の検討など
- (二) 事務所安全・適正就業対策会議の活用
 - ・ 就業現場の安全確認・巡回指導の実施など
- (三) 安全・適正就業委員及び対策委員の育成
 - ・ 県シ連が主催する講習会等参加
- (四) 安全・適正就業基準の徹底
 - ・ ホームページを積極的に活用し安全就業等についての周知徹底

二 安全意識の向上の推進

- (一) 講習会研修会の実施
 - ・ 交通安全講習会等を実施など
- (二) 安全就業の啓発
 - ・ 安全標語等の募集など
- (三) 健康管理
 - ・ 健康診断の受診の奨励など

平成23年度「安全標語」 「ヒヤリ・ハッと体験事例」 を募集します

会員に、安心・安全な、就業環境の確保が求められていることから、シルバー事業の安全就業の推進につながる「安全標語」と「ヒヤリ・ハッと体験事例」を募集します。

【応募方法】

原稿用紙に住所・氏名・電話番号を記入の上、郵送、FAXまたは各事務所に御持参ください。

※①応募は一人一標語・一事例までとします。

②自作のもの

【締切り】

平成23年5月31日

【宛先】

〒210-0026 川崎区堤根34-19

(財)川崎市シルバー人材センター

事業企画課

FAX 044-221-8516

● 選考の結果、採用された方には記念品を贈呈します。



平成22年10月～平成23年1月 事故発生状況

1 会員傷害事故

番号	区分	仕事の内容	性別	事務所	事故状況
1	就業中	店舗の清掃	女	南部	店舗前の落ち葉を清掃中、男性の運転する自転車が会員の左体側にぶつかり、会員が引っくり返り、頭、腰、尾てい骨を打撲した。
2	就業中	商品の品出し	男	中部	牛乳の箱を移動中、箱が崩れ落下。作業していた会員の右足に落ち、足指にヒビ。
3	途上	家事援助サービス	女	中部	発注者宅へ原付で向かう途中、交差点で、前方の車が発進したのを見て後に続いた所、横から来た普通乗用車と接触し、胸部と背中を打撲した。
4	途上	屋内軽作業	男	中部	就業先へ自転車で向かう途中、右方向から来た自転車と接触し転倒、額と左足を負傷した。

2 賠償事故

番号	区分	仕事の内容	性別	事務所	事故状況
1	就業中	草刈り作業	男	北部	刈払機で草刈りをしていたところ、草に埋もれていたガス管に刃をぶつけ、破損させた。
2	就業中	植木剪定作業	男	南部	1階の軒裏から電話線を伝って、2階屋根まで伸びていたアケビの蔓を切ろうとし、誤って電話線を切断してしまった。
3	就業中	植木剪定作業	男	中部	剪定作業中に、切った枝を発注者宅の物置の屋根に誤って落下させ、屋根を破損させてしまった。
4	就業中	屋外清掃作業	男	北部	マンション壁を清掃中、ホースによる放水が一室の電気メーターに流れ込み、漏電。部屋の中にも水が入ってしまった。
5	就業中	屋内軽作業	男	北部	スーパー店内で被害者が買物カゴを取ろうとした時、会員がカゴを数個重ねようとして被害者の左手を挟んでしまった。

会員講習会実施報告

●子育て支援講習会

開催日 平成22年12月14日(火)
 開催場所 シルバー人材センター
 多目的会議室
 受講者数 18名

核家族化が進行し、子育ての環境が厳しくなっている状況の中で、子どもの送迎や見守りの依頼が増えています。安全に子どもをお預かりするために、消防署・救急係長から「こどもの発達から見たケガと安全」、西大島保育園看護師から「こどもの発症しやすい病気と対応について」、藤崎保育園保育士から「こどもの発達と遊び方や保護者との関わり方」の講演がありました。どのテーマも子どもをお預かりするのにとても大切な内容でした。

「受講者の感想」

私は、2か月の短い間でしたが、保育に係る仕事をいたしました。

子育てから離れて、30年、大人だけの生活に慣れてしまった今、何を子どもたちが求めているか難しい「壁」にぶつかりました。

今回の講習会は、「こどもの病気」「ケガ」「こどもの発達と遊び方」とそれぞれが、具体的に一つ一つスライドによる説明があり、分かりやすく受講することができました。

5時間と短い受講時間でしたが、人を預かる大切な子育て支援業務に必要な知識を身につけ、少しでも役に立てたら良いなと思いました。

秋元 ツヤ子会員

●認知症サポーター養成講座

開催日 平成23年2月24日
 開催場所 川崎市福祉センター講堂
 受講者数 44名

認知症講座は、認知症を正しい知識の中から考えるということ、その導入として、SOS劇団によりユーモアに溢れた寸劇が上演されました。その後、川崎市認知症ネットワーク(NPO法人)代表の柿沼矩子様と事務局長の中川和子様から、認知症に関する知識や対応の仕方などの講演がありました。

受講者は、時には笑い時には頷きながら、真剣に受講し、2時間があつという間に過ぎてしまいました。アンケート結果も大多数が「とても良かった」との評価でした。今後、認知症サポーターとして、各々の地域で認知症高齢者や家族を支えるよう活躍を期待します。



会員投稿

私の健康法

北部事務所 会員 鶴久森 政 敏



私は数年前から北部事務所に登録し、時々マンション清掃などに従事しています。

9年前にリタイア、日常生活が「サンデー毎日」となり、何にでも興味を持つ私はこれまで、カラオケ、エアロ、ウォーキングサークルへの参加など随分趣味が増えました。

この過密な日常生活にどっぷり浸っている私には、風邪やインフルエンザも近づかないようです。インフルエンザの予防注射を打ったことがありません。しかし、健康を自慢していた私も、体力の衰えは少しずつ感じていました。

そうした中で、数年前に出会ったのがスイミング(水泳スクール)です。スポーツクラブでエアロなどを楽しんでいましたが、夏の暑い最中に涼しさを求めてプールに入ったのが始まりです。上手に泳ぐ人を見て、私も上手く泳げるようになりたいと思い、講習に参加しました。

水泳を始めて2年、クロールは楽に泳げるようになり、クイックターンもマスターしました。今はバタフライに挑戦中ですがなかなか上達しません。足も時々攣ります。

水泳のお陰で体が締まったように感じます。スタミナがついたように感じます。気のせいか若くなったようにも感じます。残念なことにお腹はへこまず、体重もそのままですが…。

また、一緒にスイミングに参加している女性会員は「仲間とのウォーキングでいつも先頭、水泳で足腰が強くなった」と話していました。

スポーツクラブのスタジオでハードなプログラムに参加しなくても、スイミングで体を動かすことで体力がつき、健康を維持できると思います。ぜひ皆さんもトライしてください。

会員編集委員による取材

中部事務所訪問記

1980年（昭和55年）財団法人川崎市生きがい事業団として設立、昨年30周年の節目の年でした。バブル崩壊、リーマンショック等、経済的に苦しい時代も乗り越え、会員数で12倍、受注件数で15倍、契約金額で52倍の右肩あがりの発展途上にあります。（30周年記念誌「飛翔」より）
これは先輩シルバー会員一人一人の働きが信頼されている結果なのでしょう。

その中で、中部事務所は高津区溝口に事務所を構え、商業施設が多い南部事務所、住宅街の多い北部事務所の間に位置することから、受注も企業から一般家庭まで幅広く、多種にわたり受けています。



今回訪問した2月22日は、新規会員登録説明会及び個人面談の開催日でした。事業説明の後、1人約10分程度の個別面談です。本人の希望する職種、曜日、時間等…、まず驚いたのは、菫澤所長、小島主

査、近藤主任、飯沼家事コーディネーターの4人で、全ての業務を処理されている事…。個人面談も所長を含め職員3人で同時スタート。その間にも頻りに電話が入るが、コーディネーターさんがパソコン内の情報を見て対応。担当者とアウンの呼吸で解決し、スムーズな流れで約1時間程度で16人の登録処理が終わる。午後は11人でした。
中部事務所の月間スケジュール表を拝見させていただきましたが、土日以外の空白はないほどでした。その中で菫澤所長、小島主査、近藤主任にインタビューを行いました。

Q1 入会者の希望と実際について

例えば職種では事務職系を希望していても、受注量は非常に少なく、職員の言葉では「ミスマツチ」と話されていました。どうしても意識の上で現役時代を引きずることにあります。対策は本人の意識改革をお願いする事。例えば、軽作業では如何でしょうか？生きがいとして如何でしょうか？視点を考えて考えられるように仕事選択の幅を広げる努力をしているとお話でした。

Q2 事務所で特に力を入れている事

「会員数と仕事量の『バランス』が重要で、仕事が少ない状況の為に仕事を（造）創る事が大事です。各種広報媒体の活用（タウン紙、ポスティング等のチラシ配布）営業活動など。高津区はお墓が多いので、お墓の清掃（草木等）、お寺さんと契約など…今活動している事は全て将来の為に。」と所長が強調されていました。

Q3 今後の事務所展開について

家庭内におけるチョットとした困り事⇨地域サポート事業（電球の交換、簡単な家具移動、窓ガラ

ス拭き等）を拡げると共に、会員の仕事の幅が広がる⇨講習会（家事支援、ハウスクリーニングなど）を準備していくとのことでした。

また、昨年は6月、9月にボランティア清掃及び、受注活動に多くの会員がご参加いただきましたことに、御礼申し上げます。23年度も更に多くの会員さんと協力し、事業拡大に努めるとの事でした。

所長、主査、主任、3人が均等分担作業で同一テーブル上で実行されている一生懸命の思いがひしひしと感じられました。

なお、個別面談、インタビューの間は3人机を空ける事になりますが、飯沼コーディネーター1人で対外との電話等に対応されている事、4人の連携が見事、何か心あたたまる思いを感じました。本当にありがとうございました。

（取材⇨会報編集委員 三十日 清）



事務所だより

★南部事務所

☎2222-1550

◎家事援助・子育て支援サービス懇談会

平成23年3月9日(水)

1階多目的会議室 参加者19名

家事援助・子育て支援サービスに就業中の会員を対象に、懇談会を開催しました。

まず、「傾聴」について、講師の長谷川会員（老人施設で絵手紙と傾聴ボランティア活動）から、今までの経験をふまえ、「傾聴」とは基本的に触れ合った人に心を添わせる事（自分の話は2割、8割は相手の話を聴くこと）が大事であるとの説明がありました。続いて質疑応答で、委託者との



コミュニケーションで問題を抱えている会員から多くの質問があり、講師が事例にそって回答をしました。次に会員の自己紹介を兼ねて自分の就業内容や問題点などを話し合い、活発な意見交換が行われました。今後の課題として、会員同士の情報交

換、緊急時の支援等、家事援助・子育て支援サービスをより良くスムーズに行えるよう将来に向けて班体制の土台作りをすることを職員と会員双方で確認しあいました。

◎宝寿会「新年会」

平成23年1月21日(金) 参加者22名

宝寿会主催の「新年会」を仲見世通りの商店街にある【赤桃飯店・本店】で開催しました。

当日は午後6時より2時間の予定の中で役員挨拶・自己紹介等に続き



おいしい中華料理（呑み放題付）と自慢ののどを競うカラオケを行い、楽しい時間を過ごしました。最後に皆様の健康とご活躍を願って散会となりました。

◎除草班全体会議

平成23年3月17日(木) 午前10時

参加者13名

23年度のグループ編成の見直し、作業手順の再確認及びゴミ処理問題等について検討を行いました。

◎植木班全体会議

平成23年3月17日(木) 午後2時

参加者14名

22年度のクレーム、事故等についての反省を行った後、平成23年度の班・グループ体制についての検討を行いました。

◎事務所安全・適正就業会議

平成23年3月23日(水) 午前10時

事務所対策員3名と事務局2名出席し、平成22年度第2回南部事務所安全・適正就業対策会議を開催し、平成23年度の実施計画及び事故発生状況等の報告を行いました。

★中部事務所

☎2222-5031

◎安全・適正就業巡回及び会議



事務所対策員による適正就業のため、植木作業、放置自転車対策作業などの就業現場を数回に分けて巡回しました。ほとんどの就業現場において、安全確認、言葉遣い等を常に心掛けた、適正な就業がなされていました。

また、3月23日には中部事務所にて安全・適正就業対策会議を開催し、巡回の報告、新年度に向けた方針について話し合われました。

◎植木・除草班班長連絡会議

平成23年2月24日(木)

同一発注者からの各受注に対する連携強化のため、植木班、除草班の班長、副班長が集まり、受注状況等の情報交換を行いました。連携がとれるよう就業依頼の際に情報提供することや、相互間の交流等話し合われました。

◎地域班活動報告

昨年4月から活動を始めた地域班について、中部事務所管轄地域4班の班長、副班長に就業開拓に伴うチラシを2月から3月にかけて一般家庭を対象として3,200部配布しました。

★北部事務所

☎0800-0131

◎大妻女子大学「高齢者の意識調査」

3月22日(火)～24日(木)

3月1日(火)～3月3日(木) 延べ6日間

参加者103名 北部事務所会議室

大妻女子大学社会情報学部の依頼により、65歳



以上で高校卒業後2年以上教育期間を有するなどの条件で応募のあった会員による「高齢者の意識調査」を実施しました。1回目「日常生活の記憶に関する調査」と2回目「複数のパズルや簡単なテスト」の2回、いずれも2時間程度の

調査を行いました。

延べ6日間の調査で参加者は103名(男性62名・女性41名)に達し、調査に対する会員の積極的な姿勢に大学の方々も感心されていました。当初から目標にしていた100名以上の調査資料が集まり、大学の調査研究に協力することができました。同時に就業率のアップに繋がりました。

◎荷造りテープで籠を作る教室

2月25日(金) 参加者9名

北部事務所作業室

井戸弘之先生による荷造り用テープを利用した「籠作り教室」に、はたして荷造りテープで籠ができるものだろうか?と半信半疑で参加しました。講習を受けたのは会員8名、職員も加わり9名の参加でした。そのうち女性が7名と、やはり女性に人気があるようですね。

先生の気さくな指導で、みな、和やかな雰囲気



で講習が受けられました。こちらでも、作り始めてみると、丁寧な指導で簡単にできそうだなと思いい、気楽にやっていたのですが、横の編みこみの部分は難しく、本来の不器用さも加わり、完成に苦労しました。そのため時間がかり、講習が

終わる頃、やっとできあがりました。しかし、できた籠は初めてにしては立派に見え、こんなに見栄えがよくできるのかと感心しました。

皆さんも楽しそうに、しかも真剣に取り組んで籠作りに励み、あつという間の3時間でした。最後に先生の自作のカード入れのお土産までもらい、できあがった我が作品を持って、満足して帰りました。

末永 時和 会員

◎事務所安全・適正就業対策会議

3月11日(金) 出席者5名

北部事務所会議室

平成23年度安全・適正就業実施計画及び事故発生状況をもとに、来年度の安全対策について協議しました。特に植木・除草の事故が多い傾向にあることから、引き続き就業現場の巡回・指導を強化等の啓発を図るとともに、関係機関との協力関

係の強化を図り、就業途上の交通事故防止対策を検討していくこととなりました。

◎受注開拓チラシのポステイング

3月7日(月)～3月18日(金)

参加者9名

10月に引き続き、北部地域班班長及び副班長により、多摩区から麻生区の各担当地域で受注開拓チラシのポステイングを行いました。

今後は、配布部数を増やし、ポステイングを個人宅だけではなく、企業等も対象にして、センターPRの幅を広げたいなどの意見があり、より活発な地域班の活動を目指します。

広 告

全国31か所のリゾートホテル
お届けするのは、
こころ豊かな時間です。



川崎市シルバー人材センター会員様
保養所契約施設 (1泊朝食付)
お得にリゾートをお楽しみ下さい

大和リゾート(株) 横浜営業所
横浜市西区みなとみらい3-6-1
みなとみらいセンタービル15階
Tel. 045-650-5300 担当: 川原

契約保養所のパンフレットは各事務所に置いてありますのでご覧ください。

広 告



表現することの大切さを
私たちは考えています。

プロフェッショナルDTP
株式会社アサヒプリンティング
[営業部] 〒202-0023
川崎市幸区戸手本町1-7-1
TEL(044)742-8812

東日本大震災への

義援金の協力を

3月11日に発生した東日本巨大地震により、被害が甚大かつ広範囲に及んでいることから、当センターは被災地への支援として、各事務所に義援金箱を設置しましたので、会員皆様のご協力をお願いします。

この義援金は、(社)全国シルバー人材センター事業協会を通して、被災地に届けられます。



配分金支払日のお知らせ

4月分から6月分の配分金支払日は次のとおりとなっております。

4月分	5月25日(水)
5月分	6月27日(月)
6月分	7月25日(月)

※配分金は月末で締めて翌月25日(金融機関が休日の場合は翌営業日)に指定された口座へ支払います。

編記 後集

日本海側を中心とした豪雪、また、霧島山新燃岳の爆発的噴火と今年に入っても自然がもたらす大きな災害が続いて

いましたが、3月11日に未曾有の大震災が東北・関東を中心に発生しました。

本部事務所のある川崎区は震度5強でしたが、かつてない激しい揺れに驚かされました。時々刻々と報道される被災地の惨状は目を覆うばかりで、少しでも支援の手が差し伸べられたらと思っています。

また、改めて予期せぬ自然災害に対する備えを日頃から怠らないよう自らの肝に銘じたところです。

さて、当センターの上部団体「全国シルバー人材センター事業協会」の普及啓発誌『月刊シルバー人材センター』4月号と5月号の両号に、川崎市の歴史文化や当センターなどに関する紹介記事が掲載されます。全国のシルバー人材センター会員にPRする絶好の機会ですので、川崎市内の紹介ポイントに知恵を絞りました。各事務所にこそ来所の際は、手にとってご覧いただければ幸いです。



たしかめちゃん